



▲紙のすき具合で紙の出来栄が変わります

アオサが紙に生まれ変わりました

紙作りを通じて環境問題を考えるイベントを開催

普段、海岸に打ち上げられても使われることのない「アオサ」を活用した紙作りのイベントが、11月17日に市役所津屋崎庁舎で開催されました。ミキサーで細かくしたアオサにパルプを足して網の付いた木枠に移し、紙すきの要領ですいて乾かすと、アオサの紙の出来上がり。紙すきを初めて体験する子どもも多く、お父さんやお母さんに手伝ってもらいながら作っていました。出来上がった紙は、12月9日の環境フォーラムinふくつで廃油から出来たキャンドルのランプシェードに生まれ変わりました。

日ごろの鍛錬が実り全国大会へ出場

第25回全日本小学生相撲優勝大会に出場しました

9月9日に第25回全日本小学生相撲優勝大会九州予選会が鹿児島県日置市で行われ、宮地嶽相撲クラブたかひろに所属している竜口尚大さん(福間小4年生)が準優勝し、全国大会に出場しました。

12月2日に東京都の国技館で開催された全国大会では、1回戦は大阪府の選手と対戦して寄り切りで勝ち。2回戦は富山県の選手と対戦、寄り倒しで惜しくも敗れましたが、今後の活躍が大いに期待されます。



▲11月16日、全国大会出場を小山市長に報告しました



▲会話しながらウォーキングを楽しむ参加者たち、小学生も参加していました

まちのあだい

あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。

〒811-3293 (住所不要)
福津市役所広報秘書課 広報ふくつ行
☎43・8113

みんなで歩いて健康

みんなで健康いきいきウォークを開催されました

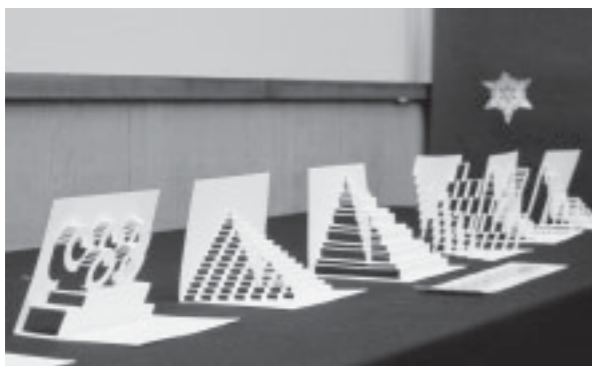
11月18日、「みんなで健康いきいきウォーク」が開催されました。

集合場所のふくとびあで、準備運動を全員で行った後、自分の体力に合わせて、10キロコース・5キロコースを選んで出発。10キロコースでは、宮地嶽神社、お魚センター、夕陽館などを巡ります。参加者はわいわいと楽しくウォーキングを楽しんでいました。

ウォーキングの後は、ふくとびあで骨密度の測定や郷土料理「だぶ」のふるまいがあり、多くの方が福津の郷土料理を味わっていました。



市民広報ボランティア



有座まさよ Xmasペーパークラフト展

11月24日～12月2日に津屋崎千軒なごみで有座まさよによるXmasペーパークラフト展が開催されました。

1枚の紙を切って、折って作られた立体カードの数々。山折りと谷折りで作られた美しいスリットの作品やとても1枚の紙からできているとは思えない宮地嶽神社などのカードが並び、来場者は美しい作品の一つ一つに見入っていました。

【中山和恵】



第9回佐藤弘幸和紙絵個展

11月2日～15日まで津屋崎千軒なごみで「第9回佐藤弘幸(的岡区)和紙絵個展」が開かれました。描き始めて8年目となる佐藤さん。今までは描き方が抽象的でしたが、写実的に変わってきたそうです。どの作品も母性的で優しく包み込むような印象を受けました。「あえて作品にタイトルを付けないのは、見る人にいろんな考えで鑑賞していただきたいから」と話していました。約20点の心温まる佐藤ワールドでゆったりとした時間を過ごしました。【櫻井紀子】



津屋崎の塩田跡巡り

11月21日郷育カレッジの講座で、勝浦塩田、津屋崎塩田の跡を巡りました。あまり知られていませんが、勝浦と津屋崎では塩田での塩づくりが大規模に行われていました。盛んな時は、福岡県の約35%を生産していたとのこと。

塩浜公民館にある花田藤助翁の碑をスタートに、海水取入口である堀切しおがま、塩竈神社、レンガ造りの塩倉庫を見学。塩倉庫は、実は「塩務局津屋崎出張所文書庫」であるとの説明があり、郷育カレッジ終了しました。【吉村邦夫】



第8回市民文化祭が開催されました

11月2日～4日、カメラアホールで第8回福津市民文化祭が開催されました。

展示部門では、茶道や華道、陶芸、盆栽、絵画、書道、彫刻などさまざまな力作を鑑賞できました。

芸能部門では、舞台上でカラオケや詩吟、日舞など日ごろの稽古の成果を発表していました。

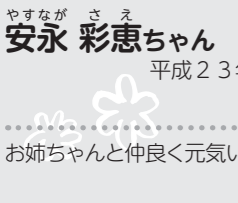
【藤山謙治】

みんな大好き！ わが家の宝



なかの ゆうと
中野 結斗ちゃん
平成23年1月13日生 四角区

2歳のお誕生日おめでとう！！
日々成長していく結斗の姿を見てると、とてもうれしくなります。これからも笑顔
を絶やさず、元気いっぱい育ててください。



やすなが さえ
安永 彩恵ちゃん
平成23年12月13日生
あけぼの区

お姉ちゃんと仲良く元気いっぱい遊んでね！



なかじま なおた
中嶋 尚汰ちゃん
平成24年1月14日生
あけぼの区

1歳おめでとう☆兄ちゃんと仲良く、
健やかに育ってね！！

募集しています

- 広報ふくつでは「みんな大好き！わが家の宝」に登場してくれる1歳から4歳程度のお子さんを募集しています。●「〇月号に載せて」という場合を除き、締め切りはありません。申し込みいただいた後の最新号に掲載します。
- 誕生日など、掲載号をご指定の場合は、誕生日の前月1日までに申し込みください。●お子さんのお名前・住所（行政区）・生年月日・お子さんのお気に入り（好きなものなんでも）に写真を添えて申し込みください。

申込・問い合わせ 市広報秘書課(福岡庁舎) ☎43・8113

TOWN TOPICS

大切にに使わせていただきます

福岡サンテラスに寄付

11月19日、花見が浜2丁目にある株式会社キューヘンが、11月11日に行われた「第23回キューヘンゆのか祭り」での模擬店の収益143,048円を、福岡サンテラスに寄付しました。

キューヘン総務グループ長の緒方正剛さんは「今年はバザーの売上が良くて、例年よりも多い金額の寄付ができてうれしい」と笑顔で語っていました。サンテラスの改修工事の一部に充てられます。



▲キューヘンの緒方さん(右)が、寄付金を手渡す

音楽を通じて発信する純粋な心からのメッセージ

市ふれあい交流事業「ピュアハート被災地訪問報告コンサート」を開催



▲ハプニングがありながらも元気いっぱいに演奏しました

筑紫野市を拠点に活動する音楽バンド「ピュアハート」が6月に東日本大震災の被災地を訪問、その報告会を兼ねたコンサートが12月2日にふくとびあで開催されました。メンバーは知的障がいなどのハンディを持つ7人で、同じようにハンディを持って被災した人たちへ少しでも支援をしようと、被災した知的障がい者施設へ音楽と笑顔と義援金を届けました。コンサートではその時の様子の報告とともに全20曲が演奏され、訪れた人たちも一緒になって大いに盛り上がりました。



▲町家再生の有識者が集い討論が交わされた



▲カメラアホールの大研修室に約100人が集まった。

まちのわだい

伝統的な町並みは日本の財産

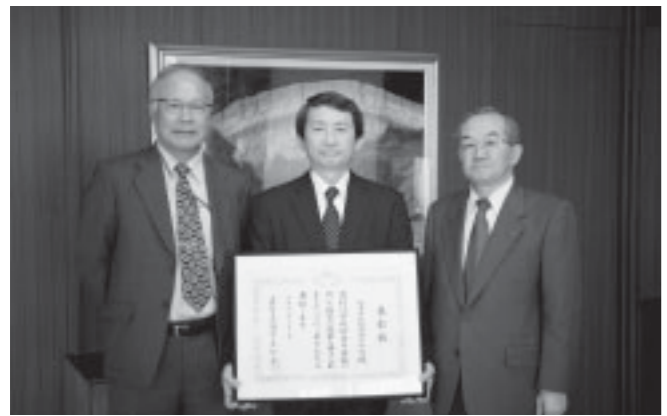
第35回全国町並みゼミ福岡大会の分科会がカメラアホールで開催されました

12月1日、カメラアホールで「町並みの保存・継承と町家等の活用」をテーマに分科会が開催されました。「町並みの保存・継承と町家等の活用」をテーマに、山口寛さん(NPO法人地域交流センター津屋崎ランチ)がコーディネーターを務め、田上健一さん(九州大学院准教授)と松井薫さん(京町家情報センター)をアドバイザーに迎え、パネリストには岸野裕児さん(NPO法人龍野町家再生活用プロジェクト)、中村泰典さん(NPO法人倉敷町家トラスト)、大島真一郎さん(NPO法人八女町家再生応援団)の事例発表が行われました。

パネリストからは、「古い町家がどんどん無くなっている」「伝統的な町並みは、住民だけでなく日本全体の財産である」「失われつつある町家を保存するだけでなく、その価値を高めることが大切」などの発言がなされていました。

福岡南小学校の給食が文部科学大臣表彰

福岡南小学校大嶋校長が市長を表敬訪問

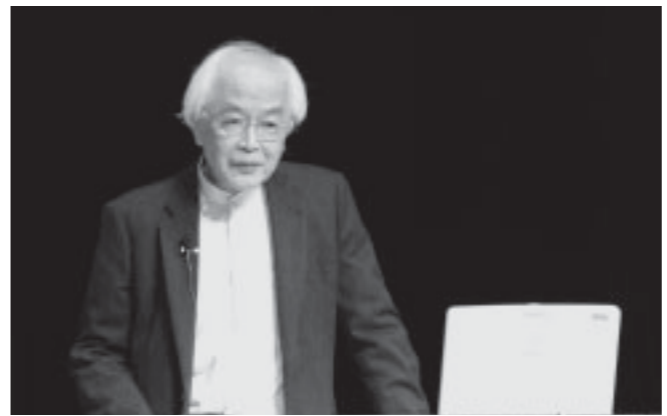


▲左から金子教育長、福岡南小学校大嶋校長、小山市長

11月15日に第63回全国学校給食研究協議大会が開催され、福岡南小学校の給食に対するさまざまな取り組みが高く評価され、文部科学大臣表彰を受賞しました。受賞の報告を受けた小山市長は「本当におめでとうございます。関係者の熱意と努力が評価されたのだと思います。この表彰を土台にしてさらなる学校給食の進歩を願っています」と言葉を贈りました。

人生を支える言葉

市立図書館開館20周年記念講演会が開催されました



▲「小さな言葉でも大きな意味を持つことがある」と語る柳田邦男氏

今年度の県読書推進大会および市立図書館開館20周年記念行事として12月2日、市中央公民館で記念講演会が開催されました。講師は作家の柳田邦男氏。「人生を支える言葉」をテーマに、東日本大震災で被災した人や人生の最期を迎えようとしている人につわる「生きる意味」を見出す言葉について、多くのエピソードを交えて講演されました。会場ではメモをとりながら聞く人などもいて、来場した多くの人が熱心に聞き入っていました。

市民広報ボランティア



七五三お宮参り

11月、宮地嶽神社はお宮参りでにぎわっていました。子どもの健やかな成長と健康を祈ってのお参りに多くの家族が訪れていました。

正装した男の子、着物姿の女の子たち、通り行く人たちが「かわいい」の声が聞こえます。子どもたちの晴れ着姿に、お母さんのカメラは手から離れそうもありません。肌寒い日でしたが、親子の笑顔が印象的でした。【福岡信一】